

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	8 (9)	19
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	3 (4)	6
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第48週(11月25日~12月1日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	1	1		2		2
三類	0	発生なし	0							
四類	2	A型肝炎	1						1	
		つつが虫病	1	1						
五類全数	15	アメーバ赤痢	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2	1					1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	2			1		1		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	8		1			7		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

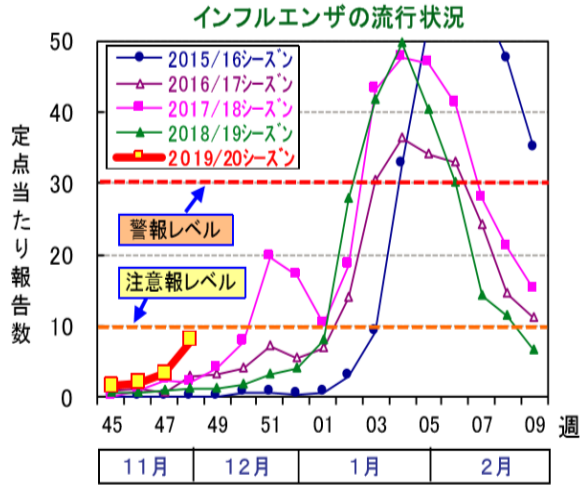
1. インフルエンザ

定点当たり7.97人と、前週と比べて約2.4倍に増加し、注意報レベル(定点当たり10.0人)に近づいています。また、小学校を中心に、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も15件報告されています。

健康管理に注意し、手洗いの励行、咳エチケットなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり5.58人と、前週と比べてやや増加しました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、例年、12月から翌年1月が流行のピークとなる傾向にありますので、手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	295	7.97	1.38	↑	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.60	
小児科	咽頭結膜熱	11	0.46	0.52		小児科	RSウイルス感染症	18	0.75	0.92	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.75	3.33	↔		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-
	感染性胃腸炎	134	5.58	10.53	↔	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.95	
	水痘	11	0.46	0.61		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	7	0.29	0.83			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	21	0.88	0.28	↑		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	突発性発しん	8	0.33	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.11		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		

急増減: ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減: ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減: ↔ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい: ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	138	女性(50歳代)、女性(80歳代)
5	アメーバ赤痢	1	9	男性(60歳代)
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	25	女性(90歳代)
5	梅毒	1	71	男性(20歳代)
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	男性(70歳代)
5	百日咳	7	86	男性(10歳未満)・2人、女性(10歳未満)・1人、男性(10歳代)・1人、女性(10歳代)・1人、男性(20歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.5) 上気道炎	6	女	2019/10/21	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(40.1) 関節痛	5	男	2019/10/25	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の疾患	発熱(38.0) 哺乳不良	0	男	2019/10/25	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載